



ひかりのこつうしん



「いのちのおはなし」2022. 10

ひかりの子幼稚園
園長 松本直子

先日卒園児保護者 OB 会行事「じょさんしの杜ふわり」さんの講演会が行われ、懐かしい皆様に再会できました。ふわりの安部さんは「今日のお話の中から 1 つでもいい、おうちに持って帰れるものがあれば嬉しいです！」と言ってお話を始められました。

- ★思春期の性を親としてどうかかわるかについてのお話(詳しくお知りになりたい方は松本、若槻まで)
- ★小学校の性教育ではセックスのことまでは教えないとのことで、世界水準では日本は遅れているようです。何も教えられなくて悩む子がいて、結局知ったのは友達との会話やアダルトコンテンツからで、そういったものから得られる知識は誤った、偏ったものになりがちです
- ★また性的同意にも触れ、セックスには同意が必要、セックスの先には妊娠と性感染症がある。性に関しての決定権は一人ひとりにある。あなたが望む事、喜ぶことを相手も喜ぶとは限らないし、返事がないのは YES ではないし、嫌な時は NO と言ってもいい。NO と言われてもあなたを否定しているんじゃないよということを知ってほしい。

★性について親から直接話すのは気恥ずかしいので、本のプレゼントなども有効とのことでした。
※「下半身入門 まるごと男子読本」～本の帯紹介「この本は世界中の男子が直面する地球規模のテーマを扱っている！」
著者ジェームズ・ドーソン

昭和の時代に生まれ育った私はどちらかというと「性」は隠すもの、人に言うべきものでなく、恥ずかしいこととして捉えてきました。しかし安部さんの明るく、楽しく、包み隠さず、さわやかに伝えて下さるお話を聞いて、その空気感がとても心地よく、「子どもたちに自分がどうやって生まれた元のところを知ってほしい」「性のことも心のことも知ってほしい」「自分の身を自分で守り、周りの人のことも思い合える人になってほしい」「大人になっていくことへの喜びを感じてほしい」と素直に思えました。そして何よりもこの歳になり、「性教育」を初めてちゃんと受けた 気がして、目から鱗がたくさん剥がれ落ちました。この内容は娘に話してあげたい、これは息子に、そしてこれは孫たちに、そしてこれは自分自身へのプレゼントだと思いながら聞くことができ、感謝な時間でした。

いのちと性がポジティブに大切なものとして書かれていて、多様性が考慮されている絵本を、安部さんに紹介していただきました。早速園でも購入し、職員室前に展示いたします。「赤ちゃんってどこから生まれてくるの?」「男の子と女の子ってどう違うの?」そんなことを聞かれた時が伝えるチャンスです。各家庭の状況や考え方に合わせて参考にして下さればうれしいです。講演会の最後は産院で生まれた赤ちゃんの動画が♪誕生日のことをおぼえていますか? の音楽とともに映し出されました。「あなたが私のもとに生まれてきてくれたこと、そのことがとてもうれしい」「幸せになってね」そんなメッセージを受け取り、涙が流れました。

いつかふわりさんに幼稚園の子ども向けに「いのちのおはなし」をしてもらいたいと夢は膨らんでいます。

